

# 愛知労働局、北監督署、名北協会、合同で 「全国安全週間キャンペーン・パトロール」実施

## 市内中区の建設現場にて作業員の皆さんを激励

全国安全週間期間中の

去る7月2日、当協会は愛知労働局、名古屋北労働基準監督署と合同で名古屋市中区にある（仮称）名古屋東京海上日動ビルディング建替工事現場を訪れ、「全国安全週間キャンペーン・パトロール」

を実施した。

まず、愛知労働局の新宅局長が集まった約100名の作業員を前に、愛知県下において昨年の労働災害における死亡者数は53名、うち13名が建設業と業種別でみて最も多く、また建設業の死亡災

害では半数を「墜落・転落」が占めていることな

どの説明があつた後、全工期の無災害を要請し、「トップから現場まで、心をひとつにして安全対策にあたってほしい」と激励した。続いて、名古屋北労働基準監督署の越川署長が挨拶の中でこれ

から増加してくる熱中症への注意を呼びかけた。

その後、当協会の池戸専務理事が合同キャンペーンの趣旨を説明、安全週間キャンペーン用品（目もとパッチリシート）を代表者に手渡し、安全意識の向上を図った。その後、工事現場のパ

トロールを実施し、墜落・転落や熱中症などへの対策状況を確認した。  
なお、テレビ局等の取材も受け、テレビ、新聞を通じ、幅広く安全週間について、周知を行うことができた。

また、当協会では全国安全週間中および準備期間中に、協会で開催する各種講習会場において、協会職員が受講生全員に安全週間キャンペーン用品を配布するなど、安全意識の啓発に努めた。



合同キャンペーンの様子



挨拶する越川署長



激励する新宅局長



キャンペーン用品を手渡す池戸専務理事（正面）



工事現場をパトロールする一行



講習会場で安全週間キャンペーンを展開する事務局職員（協会大会議室にて）